

北海道胆振振興局室蘭建設管理部苫小牧出張所安全協議会が主催する高速道苫小牧中央インター工事現場における地元小学生対象の地層（火山灰層）見学会の後援事業

1. 経緯

- (1) 日本応用地質学会北海道支部のアウトリーチ担当から協力要請があり、2018/6/6 の協議に前田仁一郎が出席して事業の内容について説明を受けた（日本応用地質学会北海道支部からは後藤和則氏、安元和己氏、および原田卓弘氏が出席）。主催者にはこの事業に係る経費が用意されておらず、必要経費は北海道総合地質学研究センターの負担になるとのことであったが、現地往復の交通手段が日本応用地質学会北海道支部によって提供され、また 北海道総合地質学研究センターとしては初めての小学生向け見学会へのアウトリーチ活動であることから、正副理事長（前田および嵯峨山 積）が要請を受け入れるという判断を行った。なお 北海道総合地質学研究センターのアウトリーチ活動の原則は、主催者に対して事業実施のために適切かつ合理的な額の経費の負担をお願いするというものであり、今回はいわば特例である。
- (2) 最も相応しい説明者として松田義章に依頼を行い、必要経費・日当・謝金などは支給無しという条件のもとで快諾を得た。
- (3) その後、3 回にわたって苫小牧において打合せを行い（6/20 松田・前田参加、6/27 および7/17 松田参加）、7/24 に見学会は十分な成果を得て終了した。

2. 見学会の概要

- (1) 日時：2018 年 7 月 24 日（火曜日）9 時 30 分～10 時 40 分および 10 時 55 分～11 時 15 分
- (2) 場所：苫小牧中央インターチェンジ線・工事現場
- (3) 対象：苫小牧市立清水小学校 6 学年児童 37 名およびその引率教員 1 名
- (4) 内容：小学生対象の工事現場における露頭の地層（火山灰層）の観察学習の指導
 - (i) 土木地質の説明（9 時 30 分～9 時 40 分、日本応用地質学会北海道支部の後藤和則氏および安元和己氏）

土木地質の調べ方、特にボーリング調査についての一般的な解説
 - (ii) 地質の説明と観察（9 時 40 分～10 時 40 分、松田が担当）
 - ① 地層（露頭）の見方・調べ方 ② 地層とは何か ③ 地層の見分け方（陸成層と海成層の違いと区別の仕方） ④ 火山噴出物とその分類・見方・調べ方（火山灰層の調べ方、特に降下軽石堆積物と火砕流堆積物の特徴とその産状、見分け方） ⑤ 実際に火山灰層に近づいての調査の実施とサンプルの採集～火山灰層の区分、陸成層・海成層の区分、降下軽石層あるいは火砕流堆積物

層の判断方法など

(iii) 観察のまとめ（10時55分～11時15分、小学校へ戻るバスの車中における説明・解説、松田が担当）

実際に観察した露頭に見られる火山灰層の正体、支笏火砕流堆積物（spfl）、恵庭 a 降下軽石堆積物、樽前 a～d 降下軽石層およびそれらの地層の間に認められる「黒ボク土」等の説明、支笏カルデラの形成およびその周辺火山（風不死火山、恵庭火山、樽前火山）の形成史および噴火史の説明、苫小牧の大地の生い立ちについての説明等を行った。

3. 経費等

この事業に充てた経費は松田と前田の無償役務によってまかなわれた。役務時間は松田が28時間（苫小牧での3度の打合せ、説明資料の作成、見学会当日の役務）、前田が6時間（2度の打合せ）の合計34時間であり、経費総額は27,540円（北海道の最低賃金810円/時間で計算）と算定された。別紙：北海道胆振振興局室蘭建設管理部苫小牧出張所安全協議会が主催する高速道苫小牧中央インター工事現場における地元小学生対象の地層（火山灰層）見学会の後援事業収支を参照。

北海道胆振振興局室蘭建設管理部苫小牧出張所安全協議会が主催する高速道苫小牧中央インター工事現場における地元小学生対象の地層
(火山灰層) 見学会の後援事業収支

I. 経常収益		
科目	決算額	備考など
受取寄付金		
無償役務受入評価額	27,540	松田義章 28時間相当 22,680 円, 前田仁一郎 6時間相当 4,860 円
受取寄付金 合計	27,540	
II. 経常費用		
科目	決算額	備考など
事業費		
人件費		
無償役務評価費用	27,540	
内訳：事前の打合せ・準備などの役務の経費	23,490	松田義章 23時間相当 18,360 円, 前田仁一郎 6時間相当 4,860 円
内訳：見学会当日の役務の経費	4,050	松田義章 5時間相当 4,050 円
人件費合計	27,540	
事業費合計	27,540	
III. 収支差額		
科目	決算額	備考など
経常収益 - 経常費用	0	

注：金額の算出には 北海道の最低賃金 810 円/時間を使用